

## 一般質問Q&A

### ○生活費の高騰について ○少子化対策について

その他の質問

・自殺対策について 他

久保幸治  
日本共産党  
議員



**問** 原材料価格が高騰する中、日本全国でガソリンや灯油、食料品等の値上げが始まっている。生活必需品は価格が上がっても買わないわけにはいかないため、すでにぎりぎりまで暮らしている市民、特に身障者や生活保護世帯の方は、さらに厳しさを増すことが懸念される。物価の高騰による市民の生活現状など、市の認識およびその対策について見解と方針を伺う。

**答** 市民の家計を支援する市独自の地域経済対策として、勝ち山飯プレミアム付お食事券事業等を実施し、多くの方に利用されている。また、県立恐竜博物館の営業再開によって市内飲食店や宿泊施設に観光客が戻りつつあり、地域経済にも回復の兆しが見えてきた。

国は11月19日に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定し、ガソリン価格を抑制する原油高対策等、事業規模78・9兆円の支援策が盛り込まれている。国の動向を注視し、生活費の高騰に対応して市民生活を支援する施策を立案し、迅速な実施に取り組んでいく。

**問** 20年以上前からすでに人口減少による様々な問題が予測されていたにも関わらず、なぜ基本的な少子化対策をしてこなかったのか。当市の政策の見直しや検討も必要と考えるが、そもそも国がこれまで行ってきた少子化対策は失敗だったとの認識はないか。少子化には経済的な不安が背景にあり、若者や社会の経済的基盤を安定させる必要があることから、消費税の減税、廃止を県を通じて国に要望すべき。子育て世代の経済的負担である教育費の軽減として、給食費の無料化を検討する必要があると考えるが市長の見解を伺う。

**答** 国の様々な少子化対策は、それぞれの分野で一定の効果はあったものの、引き続き100年単位での長期的な展望に立った取り組みを期待する。

県を通じて国に消費税の減税・廃止を要望することは考えていない。

給食費の無料化については、市は人件費等を負担しており、今後給食費の食材費分は保護者の負担をお願いしたい。

## 一般質問Q&A

### ○新たな観光事業の産出について

その他の質問

・産婦人科の充実について  
・鳥獣害の現状と来年度の予想について

松本聖司郎  
新風会・公明  
議員



**問** ①現在、多くの観光バスが恐竜博物館に来訪しており、活気が戻ってきているのかとバス会社7社にお聞きしたところ、経営は予断が許されない状況が続いているというお話だった。事業者には燃料の補助、利用者にはクーポンの配布等を行うべきと考え、市の見解を伺う。

②街で活動をする青年団やイベントグループとしては、今後、いろいろな業種を交えたイベントに昇華させたい思いがある。教育会館の駐車場の狭さによる交通の便の悪さや各施設のロッカーの少なさといった勝山市のイベントに関する問題点について、今後どのような対応をするのか伺う。

③かつやま恐竜の森の駐車場の営業について、市外の方からも数件問い合わせが私にも来ている。駐車場エリアの今後の利用について伺う。

**答** ①修学旅行や遠足等、教育旅行は回復の兆しが見られるが、募集型のバスツアーは依然として回復が乏しく、先行きも不透明な状況が続いて

いる。大手旅行会社がツアー造成したくなるような魅力ある観光地を目指し、観光資源の磨き上げを図っていく。

市内バス事業者の協力をいただき、12月25日から3月21日までの土日、祝日、年末年始には勝山駅発着市役所駐車場経由でスキージャムへの無料運行バスが出る。利用する市民には、1人3000円相当のリフト代金割引券も提供する。積極的に活用していきたい。

②大規模イベントや様々なイベントを融合させた総合イベントを実施する場合は、ロッカールームや駐車場を備えたジオアリーナでの開催を検討していく。民間の主催者にも大規模な場合にはジオアリーナでの開催を提案していきたい。

③恐竜博物館の機能強化やPARKERによる施設再整備が行われることから、公園全体の施設配置計画の中で、有効かつ効率的なエリアを検討していく。